

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

前期終業式・後期始業式

……大切にしたい儀式……

9月26日(土)、前期終業式と後期始業式を6時間目終了後挙行了しました。また、この日で退職された有馬奈奈先生(4年A組担任)の離任式も行いました。

補習校での代表的な儀式的行事と言えば、入学式と卒業式が上げられますが、校長先生の着任式、先生の新任式、離任式、開校20周年とか30周年の行事なども同様に儀式的行事なのです。



このような儀式的行事は、学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるように挙行されるものなのです。

人の一生にも種々の折節があります。例えば、妊娠中、安産を祈願しての戌の日の腹帯、出生後のお食い初め、誕生日、七・五・三、桃の節句、端午の節句、入学式、卒業式、立志式、成人式、入社式、厄払い、結婚式、葬儀に法事……。これらの多くは健やかな成長と繁栄をお祈りするものでありましょう。在外にいますと、以上のような豊かな日本の儀式や歳時記から遠ざかってしまいがちになります。大切にしたい日本の文化です。

運動会・リレーの練習開始

第31回大運動会を間近に控え、リレーの練習が開始されました。9月26日、10月3日の2回しかありません。26日はリレーのバトンの受け渡しの練習をしていました。

リレーの選手は各クラスの選抜メンバーです。真剣な表情で練習に取り組んでいました。近くにはメンバーの保護者も見守っていらっしゃいました。運動会では白熱したレースが展開されることでしょう。

ところで、運動会の諸係は今年も各クラスの保護者をお願いをし、3日はその打ち合わせをします。中学部・高等部の生徒たちも係活動に積極的に参加します。少々のもたつきがあっても園児、児童・生徒保護者・教員など全員参加の運動会にしたいと願っています。



宇宙授業

太田 了仁(中1 A 宗吉学級)

ぼくが、一番興味に思ったことは、食べ物の事と宇宙ステーションの事です。

まずは、食べ物の事です。ぼくは、食べ物の種類はあまりないと思っていました。しかし、今日の授業で、沢山の種類の宇宙食があると知りました。そして、一番びっくりした事は、宇宙で果物や野菜が食べられない事です。ぼく達はいつも果物や野菜が食べられるのでとても気の毒になりました。

もう一つ興味に思った事は、宇宙ステーションのスピードの事です。ぼくは、宇宙ステーションは、一分間に三十キロメートルくらい進むものと思っていました。けれど、この授業で一秒間に九キロメートル進むと知ってびっくりしました。一秒で九キロメートル



というスピードです。一分間で五百四十キロメートル進むことになり一時間で二千二百四十キロメートル進むというスピードです。そして、そこから写真を撮るのはとても大変だという

(「宇宙の授業」よりJAXA映像) 事にもびっくりしました。夜景を撮るためのカメラを作ったアメリカ人の宇宙飛行士も、一秒間に九キロメートル進む宇宙ステーションから、夜景をブレないで撮れるのもすごいと思いました。

今日の授業でたくさんの事を知る事ができました。この補習校で宇宙授業をして下さってありがとうございます。宇宙でもがんばって下さい。今日は、本当にありがとうございました。



質問の時間では、山崎宇宙飛行士さんが質問する生徒の近くまで歩を進め、最後まで笑顔を決することなく丁寧にご回答してくださいました。本当にありがとうございました。本校ならではの企画でしたが、また機会があれば、今度は全校で受講したいですね。

作文から「ほくのおもしろいもの見つけた」

荻島健人(小3 B 土本学級)

「あっ、うさぎだ。」

プールの練習から帰ってきた時、かわいい赤ちゃんうさぎがガレージの前において、びっくりしました。ぼくは早く車からおりて、そうとうさぎに近づきました。

うさぎはさいしょ、ぼくの足にぶつかって、次にうちの車にぶつかって、さいごにガレージにぶつかったから、目をよく見てみたら、まだ目がぜんぜん開いていなかったです。

ぼくは母さんに、「このうさぎ、かっていい。」と聞きましたが、母さんは、「だめ。」と、言いました。

母さんとぼくが話していると、うさぎが「すきあり」という感じで、ガレージの中にかくれてしまいました。しかたがないので、ぼくはガレージの中をさがしましたが、見つかりませんでした。



おにいちゃんが車を動かす時に、ぼくはガレージについて行きました。すると、つくえの下でうさぎがねているようでした。ぼくは母さんにもう一回、「うさぎをかっていい。」と、聞きました。すると母さんが、がっくりした顔で、「じゃあ、いいよ。」と、言いました。「やったあ。」と、ぼくは大きい声で言いました。

大村はま著「灯し続けることば」より③

「分かっていると言えないこともあります」

教師がよく使うことばに、「わかっているならいえるでしょう。言えないのはわかっているからです。」ということばがあります。これは通りに合わないと思います。

わかっているなければもちろん言えないかもしれませんが、わかっていると言えない事情がある場合もあります。大人の世界では普通のことですが、子どもにも子どもの世界なり秘密があることだってあります。

また、わかっていることがそのとおりに口に出せる、あるいは書けるというのは、容易ならざることです。わかる力と表す力は別のもので、「わかっているなら言えるに決まっている」、そう簡単には決めつけられるものではありません。まして、それで責められては困ります。

教師としては、この二つの能力を測る観点に混乱があるとも言えます。

★以上のことは、教師だけでなく親も気をつけたいことですね。この一文を読みじわりと汗がにじんできました。教え子たちに詫げる気持ち、大です。中島記

個人面談～保護者からの意見・質問など②～

④現地校での宿題もあり補習校の宿題が多く大変です。反対にもっと沢山出してほしいという意見も。

[校長]先生が宿題を出すその内容や性格には、大きく二通りであります。一つめは、学校で学習した内容の定着を促進するための復習的内容、二つめは、次に学習する予定の予習的内容です。本校の場合、この2種類を中心としつつ、日常的に日本語の発達を期すべく、日記や感想文を課題付けています。また、日本語に関する種々のコンクールへの応募も同様です。週1回の授業日ですから、少々は多くなると思います。ご家族のご理解とご協力をお願いしたいと思います。すべてはわが子、教え子の将来のために共にがんばりたいと願っています。

⑤「てにをは」の使い方がおかしいときがあり、その都度指摘するが中々よくなるのですが。

[校長]言葉と言葉をつなぐ「てにをは」はとても大事なものです。学校では文法的な指導も当然学習するのですが、学校や家庭での日常会話でゆっくりと丁寧にジェスチャーも入れながら話し合う事も大切です。また、話をするとき、語尾をはっきり言うことも大切です。作文や日記を続けて書くことや読んだ人が返信をしたためることも大切です。焦らずに上達を願いたいものです。間違いの指摘を厳しくしすぎると、会話すること自体を避けるようになることがあります。気をつけたいものです。



(以下次号に続く)

◆パトロール当番予定表10月10日◆

～よろしくお願いします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小1	9	一尾理子
		2	10 岩原果奈
		3	12 金子邦香
		4	13 吉野春香
		5	14 王子好生
		6	15 竹内泰雄
		7	16 星野未宙
★PM1リーダー	小1	17	吉川 慧
		2	18 横山遙土
		3	19 中村太紀
		4	20 折橋健太
		5	21 有賀桃香
		6	22 砂田恵菜
		7	23 岡 奈津美
転出入	なし		